



目次 -CONTENTS-

表紙：八幡地区 つるし雛でひなまつり

地域に愛される

つるし雛まつり

2

- 下水道への接続をお願いします！ 4
- 国民健康保険に加入されている皆さまへ 6
- 地域でサロンを始めませんか 7
- 町営住宅の入居者を募集します 8
- 齋藤町長のスマイルトーク・まちの話題 9
- 「空き家バンク」にご登録ください・

4月のカレンダー 10

ばんげの味が育てる

- おいしい楽しい健やかライフ 11
- 青少年ボランティア活動のご紹介 12
- 図書室だより・町史編さん調査余話(10) 13
- お知らせ information 14
- こどもと健康の広場 18
- 平成29年度緑の募金額と交付金
- 使いみちの報告・農福連携 20

地域に愛される

つるし雛まつり

〔八幡地区〕

今年も八幡コミュニティセンターに、つるし雛がきらびやかに飾られました。雪に閉ざされた冬に、春が訪れたかのような華やかさで見入る人を心躍らせるつるし雛まつり。地域に愛される催しに情熱を注ぐ方々、それを支える地域の方々の取り組みについて伺いました。

**地域のみんが集まる
手芸教室から始まった**

継続は地域力なり！

十三年前、地域の皆さんが定期的集まることのできる機会を設けたらという意見が上がり、公民館の事業の一環として「手芸教室」を立ち上げたことがつるし雛まつりのきっかけとなりました。

その後、手芸グループは地域づくり協議会・生活交流部会の中の活動サークル「おひさま倶楽部」となり、毎月一回、八幡地区の手芸好きの方々が集まり活動しています。

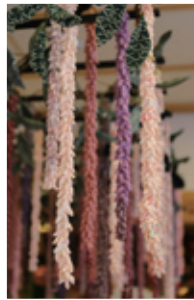
「旧八幡公民館は平成二十六年には現在の八幡コミュニティセンターへの移転が決まっていました。施設の最後を飾る事業として、館内につるし雛を飾り付けてみんなに見てもらおうイベントを行ったんです。約二〇〇名も観に来てくださって、来年もやってほしいと言われたことが今に繋がりました。」（おひさま倶楽部代表 鈴木久仁子さん 談）

つるし雛まつりが終わると、すぐ次の年のテーマを決めて作品づくりにとりかかります。「継続することは本当に大変！でも、毎年皆さんが喜んでくれるので意欲が湧きます！それに開催することが出来るのは地域のみなさんの協力のおかげなんです。続けることの大切さと地域の力を実感しています。」（鈴木さん 談）

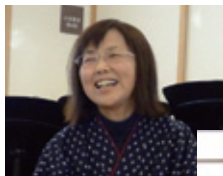
今年のテーマは「藤の花」 花言葉は「やさしさ」



一つひとつの花は和布をつまんで作られています。一つの房に約100の花を連ねた藤の花は、本物さながらの美しさでした。幹は本物の藤つるを使用。来年のテーマが楽しみです。



県内外から約3,000人の客で賑う
会津中の老人ホームや、遠くは埼玉から足を運んでくれたお客さんなども！！



昔がたり
齋藤 恵子さん

**昔がたりや
ハンドベル
コンサートも開催**



会津北嶺高校
ハンドベル部の皆さん

八幡地区の皆さん大活躍



鑑賞のお手伝い
全ての方に快適に観ていただくためにサポート



つるし雛の案内係
つるし雛の言われや伝承などを楽しく説明♪



おもてなし係
来場されたお客さまを笑顔でおもてなし



飾り付けや後片付け
作品配置や取り付けも総勢40名ほどで行う



おひさま倶楽部、八幡地区地域づくり協議会と事務局の皆さん

おひさま倶楽部 DATA

毎月1回八幡コミュニティセンターで開催
会員：八幡地区にお住まいの女性 12名

来年も「つるし雛でひなまつり」にぜひ足をお運びください！！

問い合わせ 八幡地区地域づくり協議会 ☎ 83-2619
(八幡コミュニティセンター)

地域に望まれる催しは根付いていく
まつりの開催には八幡地区地域づくり協議会のメンバーの四十名以上もの人が関わっています。
準備や飾り付けなどの力仕事は地域づくり協議会の男性を中心に行います。開催中は案内やお茶を出す係、車いすで来られた方のお手伝いなどの役割もあり、協議会メンバーが日替わりで担当します。
「やらなければ！という気

持ちではなく、みんなつるし雛まつりを毎年心待ちにしている。だからこそ、協力したい！と地域の方が大勢集まるんです。」(八幡コミュニティセンター長 佐藤 孝信さん 談)
多くの方に愛されるつるし雛まつりは、地域を盛り上げたい方々、それを支えたい地域の方々の想いを重ねて、ますます大きく華やかになっていきます。